

国内自転車生産・輸出入状況（平成26年1～12月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷および在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明する。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

前回までの報告においては、生産動態統計では「電動アシスト車」が自転車の中の一車種として調査対象とされている一方で、貿易統計においては「電動アシスト車」は独立の関税区分が立てられていないため、生産状況の報告には「電動アシスト車」が含まれ、輸入状況の報告には「電動アシスト車」が含まれていなかった。今回の報告では「電動アシスト車」の輸入に関し、これが含まれている関税区分である「その他のモーターサイクル」の数値を参考として示すこととした。但しこの「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

尚、平成26年1～12月の自転車総生産台数及び自転車総輸入台数（「その他のモーターサイクル」を含まない）は、ともに相互比較可能な過去9年間で最低となったため、国内向け数量は過去9年間で最低を記録している。

2. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成26年1～12月の我が国の完成自転車生産台数は952,068台、完成自転車生産金額は471億1,800万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は1.4%減、総生産金額は9.8%増となっている。また平成26年1～12月の完成自転車生産平均単価は49,490円となっており、前年同期の44,413円から11.4%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成26年1～12月の我が国自転車生産

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成26年1～12月	952,068	47,118	49,490
平成25年1～12月	965,954	42,901	44,413
変化	-13,886	4,217	5,077
変化%	-1.4%	9.8%	11.4%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 26 年 1～12 月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表 2 である。「電動アシスト車」が増加しているが「軽快車」と「その他」が減少したため、全体の生産台数は減少していることがわかる。

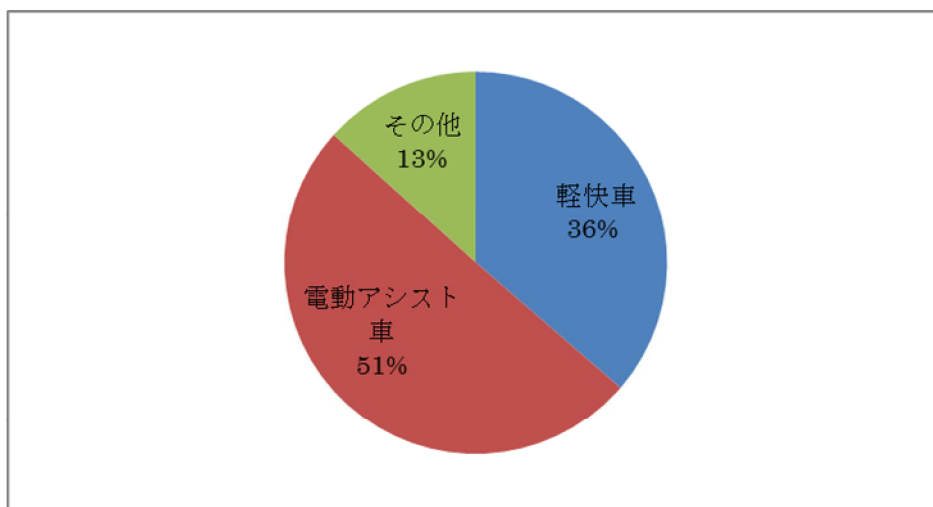
表 2 車種別生産状況 平成 26 年 1～12 月と平成 25 年 1～12 月との比較

1～12 月 車種	平成 26 年		平成 25 年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	345,978	7,667	392,297	8,221	-46,319	-11.8	-554	-6.7
電動アシスト車	479,404	35,956	443,782	31,473	35,622	8.0	4,483	14.2
その他	126,686	3,496	129,875	3,207	-3,189	-2.5	289	9.0
計	952,068	47,118	965,954	42,901	-13,886	-1.4	4,217	9.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表 2 を基に平成 26 年 1～12 月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図 A である。「電動アシスト車」が 51% を占め、次いで「軽快車」が 36% を占めている。

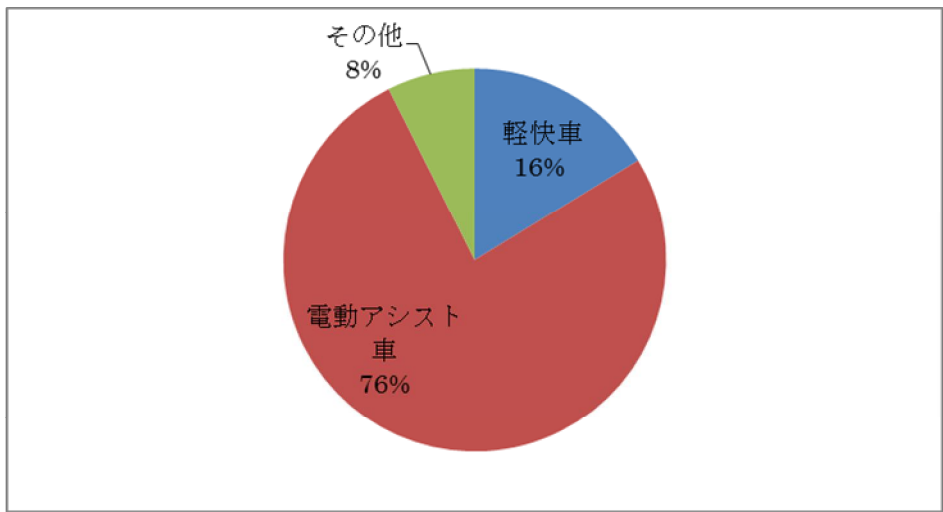
図 A 平成 26 年 1～12 月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表 2 を基に平成 26 年 1～12 月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図 B である。「電動アシスト車」が 76% を占めている。

図 B 平成 26 年 1～12 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 26 年 1～12 月と平成 25 年 1～12 月とを比較した表 3 を示す。全ての車種で上昇しており、全体の生産平均単価は 11.4%上昇している。

表 3 車種別生産平均単価 平成 26 年 1～12 月と平成 25 年 1～12 月との比較

車種	平成 26 年 1～12 月 生産平均単価(円)	平成 25 年 1～12 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	22,160	20,956	1,204	5.7
電動アシスト車	75,001	70,920	4,082	5.8
その他	27,596	24,693	2,903	11.8
計	49,490	44,413	5,077	11.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。これまで生産台数・金額とも増加が続いていたが、2014 年 11 月以降前年同月を下回るようになってきている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成26年と平成25年との比較

	平成26年			平成25年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	39,834	2,930	73,555	33,738	2,476	73,389	166
2月	42,915	3,124	72,795	39,834	2,436	61,154	11,641
3月	50,093	3,709	74,042	42,603	3,064	71,920	2,122
4月	42,224	3,179	75,289	40,518	2,890	71,326	3,963
5月	40,431	3,096	76,575	34,197	2,482	72,579	3,995
6月	43,128	3,337	77,374	36,196	2,500	69,068	8,306
7月	44,545	3,369	75,631	37,811	2,782	73,576	2,055
8月	32,971	2,531	76,764	31,997	2,298	71,819	4,945
9月	37,471	2,735	72,990	36,227	2,675	73,840	-850
10月	37,609	2,811	74,743	35,944	2,644	73,559	1,184
11月	34,503	2,586	74,950	37,561	2,673	71,164	3,786
12月	33,680	2,549	75,683	37,156	2,552	68,683	7,000
1~12月	479,404	35,956	75,001	443,782	31,473	70,920	4,082

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

3. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成26年1~12月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成26年1～12月と平成25年1～12月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			12月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平26.1～12 軽快車	345,978	7,667	781,348	811,667	12,243	344,911	92,793
平25.1～12 軽快車	392,297	8,221	894,938	932,112	14,574	358,697	140,284
変化%	-11.8	-6.7	-12.7	-12.9	-16.0	-3.8	-33.9
平26.1～12 電動アシスト車	479,404	35,956	328,584	474,766	33,236	327,881	30,365
平25.1～12 電動アシスト車	443,782	31,473	303,960	446,435	30,630	296,565	25,715
変化%	8.0	14.2	8.1	6.3	8.5	10.6	18.1
平26.1～12 その他	126,686	3,496	403,439	405,749	7,993	132,128	33,467
平25.1～12 その他	129,875	3,207	465,864	467,237	8,283	144,714	48,540
変化%	-2.5	9.0	-13.4	-13.2	-3.5	-8.7	-31.1
平26.1～12 全車種計	952,068	47,118	1,513,371	1,692,182	53,470	804,920	156,625
平25.1～12 全車種計	965,954	42,901	1,664,762	1,845,784	53,488	799,976	214,539
変化%	-1.4	9.8	-9.1	-8.3	-0.0	0.6	-27.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成26年1～12月の全車種の「受入」台数は平成25年1～12月の「受入」台数に比べ9.1%減少した。車種別には、「軽快車」が12.7%減少したほか、幅広い車種を含んでいる「その他」も13.4%減少した。一方「電動アシスト車」の「受入」台数は8.1%増加した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成26年1～12月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成25年1～12月のそれに比べ8.3%減少した。車種別にみると、「軽快車」が12.9%、「その他」が13.2%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は6.3%増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では僅かに減少し、車種別では「軽快車」が16.0%、「その他」が3.5%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は8.5%増加した。

平成26年1～12月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成25年1～12月のそれに比べ0.6%増加した。車種別にみると、「軽快車」が3.8%、「その他」が8.7%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は10.6%増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成26年12月の全車種の「月末在庫」台数は156,625台で、前年同月の214,539台から27.0%と大きく減少している。

表6に平成18年から平成26年まで過去9年間の毎年1～12月の我が国の自転車生産、出荷及び12月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～12月の自転車生産・出荷
及び12月末在庫の過去9年間の推移

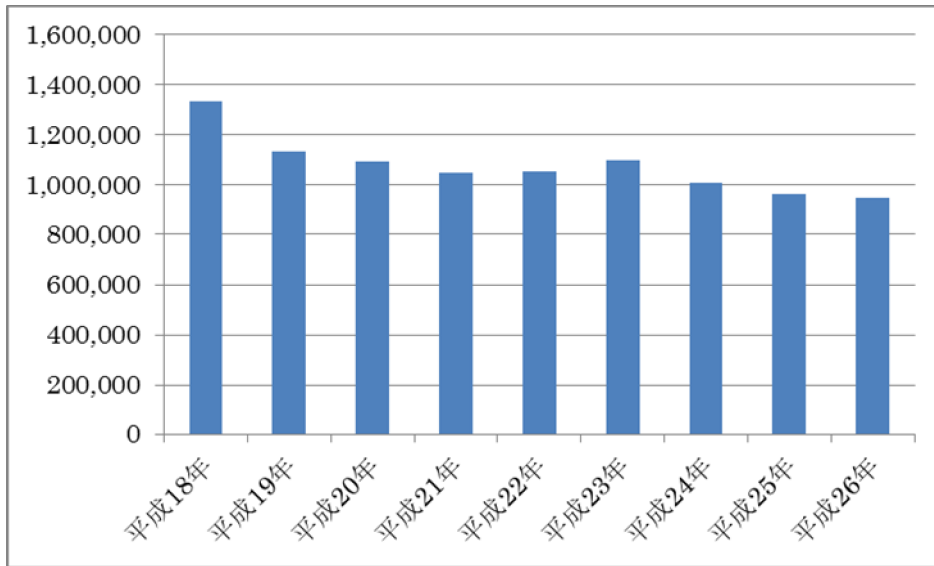
1～12月	生産			出荷			12月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成26年	952,068	47,118	49,490	1,692,182	53,470	31,598	156,625
平成25年	965,954	42,901	44,413	1,845,784	53,488	28,978	214,539
平成24年	1,012,314	40,281	39,791	2,662,605	59,321	22,279	231,240
平成23年	1,101,666	42,786	38,838	3,012,322	65,969	21,900	241,321
平成22年	1,056,951	36,956	34,965	3,038,180	58,087	19,119	208,140
平成21年	1,049,469	34,435	32,812	3,098,458	56,256	18,156	219,329
平成20年	1,094,932	28,846	26,345	3,503,464	53,463	15,260	215,790
平成19年	1,135,606	25,205	22,195	3,616,043	47,819	13,224	211,533
平成18年	1,334,512	25,614	19,194	3,924,321	47,485	12,100	214,826

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、
分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～12月の「生産台数」は前年同期に比べ減少し過去9年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去9年間で最高を記録している。これらの事から「生産平均単価」も過去9年間で最高である。また平成26年1～12月の「出荷台数」は過去9年間で最低で、「出荷金額」は過去9年間で6番目であった。「出荷平均単価」は過去9年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が9年間一貫して高くなっている。「12月末在庫台数」は156,625台で、過去9年間で最低である。

表6を基に平成18年から平成26年までの過去9年間の毎年1～12月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

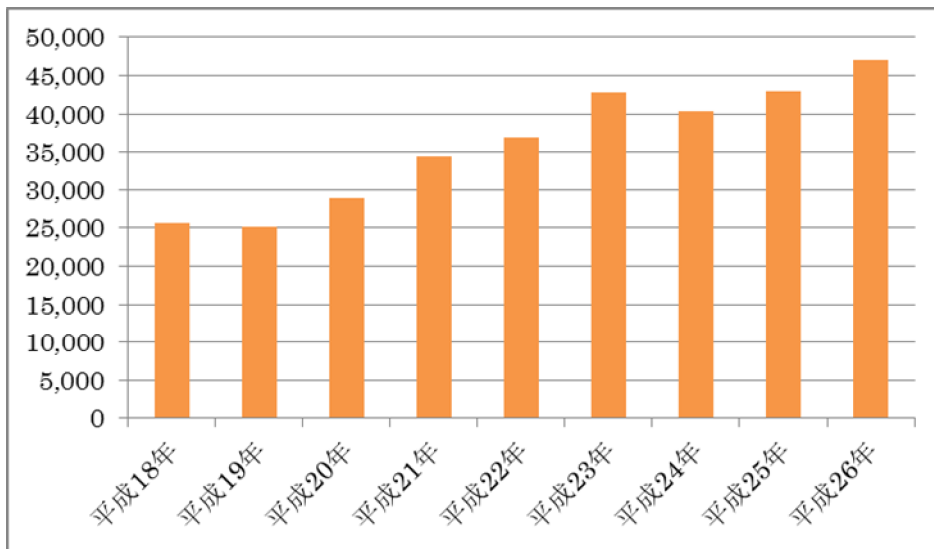
図 C 1～12月の我が国自転車生産台数の過去9年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成26年までの過去9年間の毎年1～12月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額は増加傾向にあることがわかる。

図 D 1～12月の我が国自転車生産金額の過去9年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、冒頭に記した通り電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表7 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

4-1 平成26年1～12月の輸入状況の概要

表8は、平成26年1～12月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は7,734,364台となり前年同期の7,932,395台から2.5%減少した。総CIF金額は86,321,188千円となり前年同期比7.8%増加した。これらの結果、平均CIF単価は11,161円となり前年同期比10.5%上昇した。

表8 平成26年1～12月の我が国の自転車輸入 平成25年1～12月との比較
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成26年1～12月	7,734,364	86,321,188	11,161
平成25年1～12月	7,932,395	80,110,588	10,099
変化	-198,031	6,210,600	1,062
変化%	-2.5	7.8	10.5

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成26年1～12月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表8附表 参考 平成26年1～12月の我が国の
 「その他のモーターサイクル」の輸入 平成25年1～12月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成26年1～12月	55,407	2,274,364	41,048
平成25年1～12月	68,576	2,419,613	35,284
変化	-13,169	-145,249	5,765
変化%	-19.2	-6.0	16.3

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4-2 平成26年1～12月の車種別輸入状況

表9は平成26年1～12月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表9 平成26年1～12月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	227,054	4,750,519	20,922
8712.00211 ミニサイクル	130,205	1,422,507	10,925
8712.00218 幼児車	581,229	4,062,569	6,990
8712.00219 子供車	1,881,428	17,405,554	9,251
8712.00291 軽快車	2,682,510	25,512,925	9,511
8712.00299 その他	2,231,938	33,167,114	14,860
計	7,734,364	86,321,188	11,161
8711.90000 その他のモーターサイクル	55,407	2,274,364	41,048

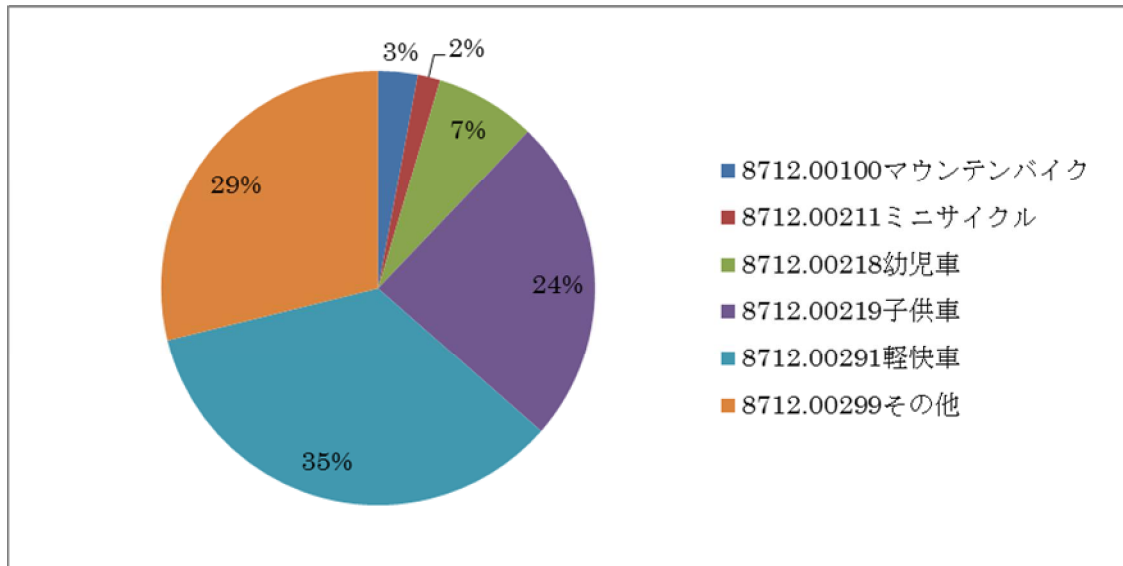
出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が20,922円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均CIF単価は9,511円となっている。また8712.00299 に分類される

「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、総 CIF 金額は各輸入車種区分の中で最も多くなっており、平均 CIF 単価は 14,860 円である。

表 9 を基に、平成 26 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 E である。「軽快車」が 35% を占め、次いで「その他」が 29% を占めている。

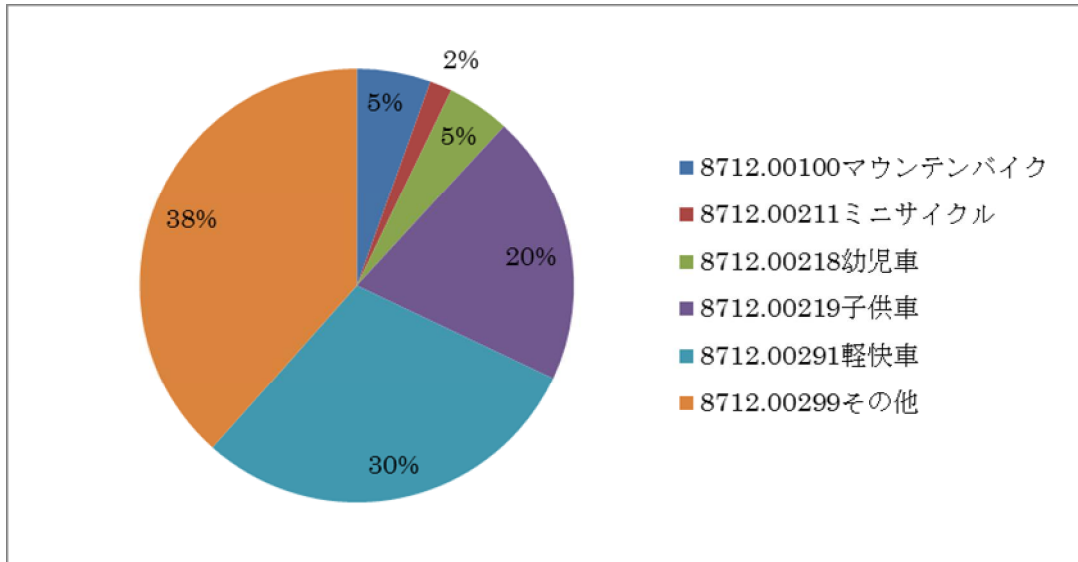
図 E 平成 26 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 9 を基に、平成 26 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 F である。「その他」が 38%、「軽快車」が 30% と大きな割合を占めている。

図 F 平成 26 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 10 は平成 26 年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。

表 10 我が国の車種別自転車輸入 平成 26 年 1～12 月と平成 25 年 1～12 月との比較

1～12 月 車種	平成 26 年		平成 25 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	227,054	4,750,519	219,848	4,620,241	3.3%	2.8%
8712.00211 ミニサイクル	130,205	1,422,507	99,363	1,267,021	31.0%	12.3%
8712.00218 幼児車	581,229	4,062,569	585,485	3,666,526	-0.7%	10.8%
8712.00219 子供車	1,881,428	17,405,554	1,966,906	16,408,936	-4.3%	6.1%
8712.00291 軽快車	2,682,510	25,512,925	2,881,192	25,021,455	-6.9%	2.0%
8712.00299 その他	2,231,938	33,167,114	2,179,601	29,126,409	2.4%	13.9%
計	7,734,364	86,321,188	7,932,395	80,110,588	-2.5%	7.8%
平均単価(円)		11,161		10,099		10.5%
8711.90000 その他のモーター サイクル	55,407	2,274,364	68,576	2,419,613	-19.2%	-6.0%
平均単価(円)		41,048		35,284		16.3%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「マウンテンバイク」、「ミニサイクル」及び「その他」は輸入台数・金額とも増加した一方で、「幼児車」、「子供車」及び「軽快車」は台数が減少したものの金額は増加した。

4-3 1～12月の輸入状況の過去14年間の推移

表11は毎年1～12月の我が国の自転車輸入の過去14年間の推移を示したものである。

表11 毎年1～12月の我が国の自転車輸入の過去14年間の推移 全車種
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

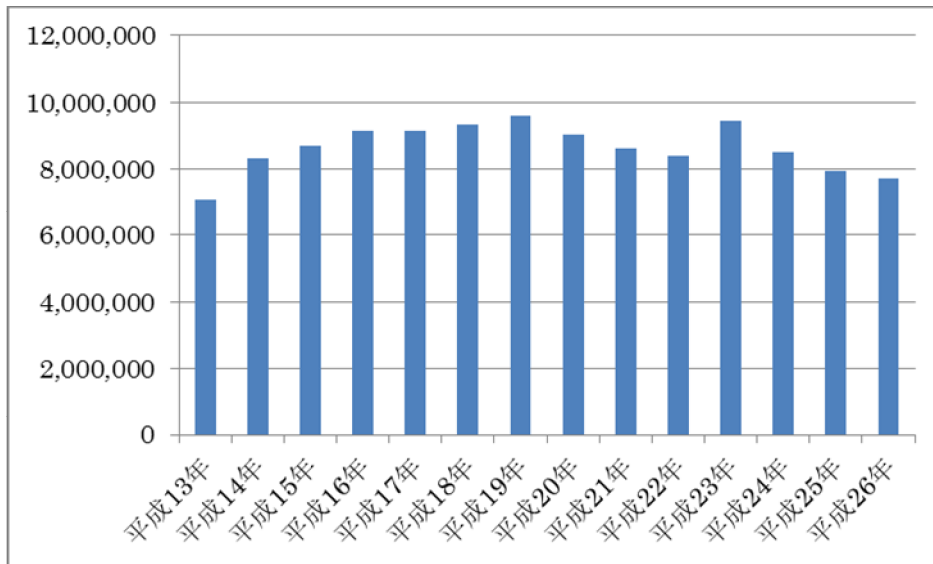
年	総輸入台数	総CIF金額 (千円)	平均CIF単 価(円)
平成26年	7,734,364	86,321,188	11,161
平成25年	7,932,395	80,110,588	10,099
平成24年	8,499,444	72,777,306	8,563
平成23年	9,450,592	74,541,580	7,888
平成22年	8,401,946	64,891,050	7,723
平成21年	8,621,717	70,434,052	8,169
平成20年	9,033,773	78,142,462	8,650
平成19年	9,603,314	74,875,361	7,797
平成18年	9,339,172	65,768,000	7,042
平成17年	9,143,819	58,146,512	6,359
平成16年	9,138,411	54,913,763	6,009
平成15年	8,702,626	55,148,720	6,337
平成14年	8,326,093	57,030,476	6,850
平成13年	7,091,640	51,030,849	7,196

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～12月の総輸入台数は、過去14年間で平成13年以来2番目に少なくなっている。また冒頭に記したとおり、生産動態統計と比較可能な平成18年以降では最低となっている。一方、平成26年1～12月の総CIF金額は過去14年間で最高である。これらのことから平均CIF単価は11,161円となり、これも過去14年間で最高となっている。

表11を基に平成13年から平成26年までの過去14年間の毎年1～12月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図Gである。

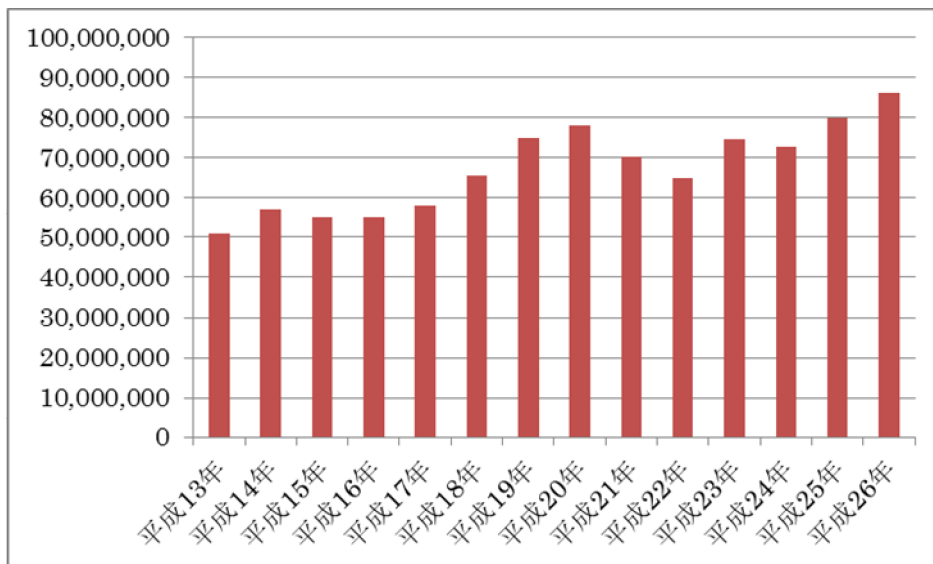
図 G 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総台数の過去 14 年間の推移(単位：台)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～12 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

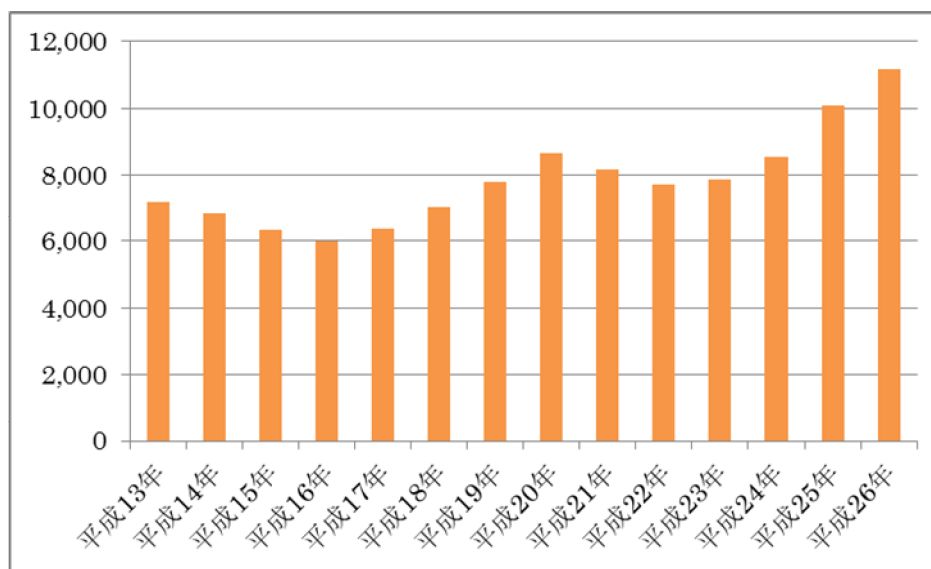
図 H 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 14 年間の推移(単位：千円)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～12 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 1 ある。

図 1 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 14 年間の推移(単位：円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 14 年間の推移を示したものが表 1 2 である。平成 26 年 1 月の輸入台数が特に大きかったことがわかる。その後 4 月、5 月と比較的低水準となり、6 月には若干復調したが、その後 7 月以降再び低調となっている。

表 1 2 月毎の総輸入台数（「その他のモーターサイクル」を含まない）
の過去 14 年間の推移（単位：台）

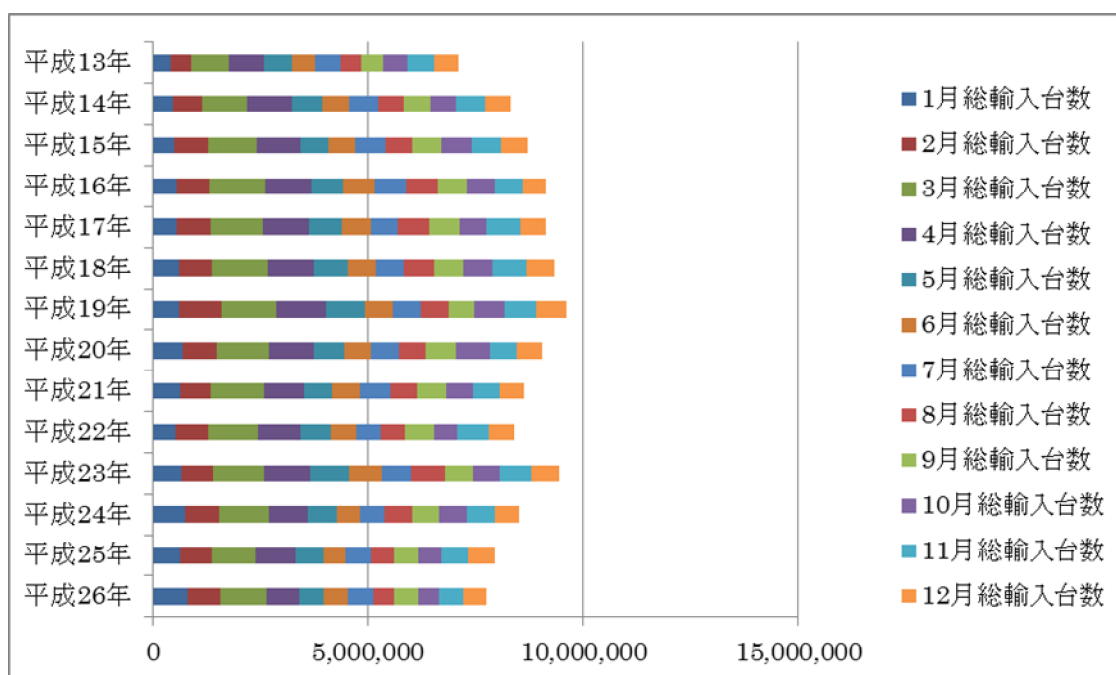
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成 13 年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成26年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成13年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12の月毎の総輸入台数の過去14年間の推移をグラフにより示したものが図Jである。

図J 月毎の総輸入台数の過去14年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表13は、毎年1～12月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去14年間の推移について示したものである。

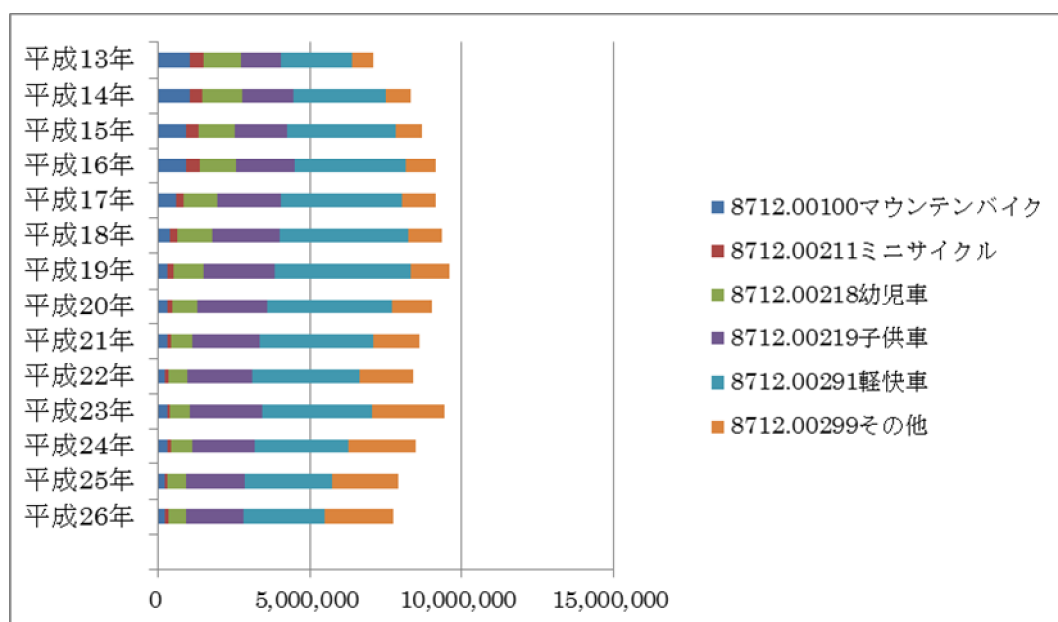
表 1 3 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 14 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 26 年	227,054	130,205	581,229	1,881,428	2,682,510	2,231,938	7,734,364
平成 25 年	219,848	99,363	585,485	1,966,906	2,881,192	2,179,601	7,932,395
平成 24 年	325,828	92,405	692,111	2,075,504	3,094,262	2,219,334	8,499,444
平成 23 年	288,094	110,599	658,735	2,387,853	3,608,216	2,397,095	9,450,592
平成 22 年	225,716	124,094	613,003	2,133,052	3,526,359	1,779,722	8,401,946
平成 21 年	300,708	118,241	718,801	2,210,631	3,744,364	1,528,972	8,621,717
平成 20 年	296,984	157,596	832,968	2,299,371	4,106,823	1,340,031	9,033,773
平成 19 年	289,270	213,917	986,539	2,368,441	4,481,866	1,263,281	9,603,314
平成 18 年	376,390	263,380	1,134,179	2,236,065	4,247,509	1,081,649	9,339,172
平成 17 年	576,127	278,403	1,091,848	2,105,760	4,000,024	1,091,657	9,143,819
平成 16 年	904,165	476,528	1,196,247	1,928,895	3,675,231	957,345	9,138,411
平成 15 年	929,832	398,388	1,203,448	1,735,536	3,571,855	863,567	8,702,626
平成 14 年	1,038,877	411,716	1,318,150	1,690,663	3,042,743	823,944	8,326,093
平成 13 年	1,043,222	436,601	1,245,415	1,335,263	2,351,540	679,599	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 K のようになる。

図 K 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 14 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 14 年間の推移を表 1 4 に示す。

表 1 4 参考 毎年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 14 年間の推移

年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 26 年	55,407	2,274,364	41,048
平成 25 年	68,576	2,419,613	35,284
平成 24 年	56,926	1,790,778	31,458
平成 23 年	64,495	1,739,538	26,972
平成 22 年	81,562	2,019,273	24,758
平成 21 年	78,574	1,857,783	23,644
平成 20 年	62,653	1,406,288	22,446
平成 19 年	77,154	1,897,038	24,588
平成 18 年	91,244	1,694,266	18,569
平成 17 年	99,138	1,720,981	17,359
平成 16 年	129,625	1,905,545	14,700
平成 15 年	289,750	2,178,050	7,517
平成 14 年	511,632	3,404,782	6,655
平成 13 年	35,577	659,693	18,543

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成 26 年 1～12 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 5 である。

表 1 5 平成 26 年 1～12 月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	7,448,297	96.3	73,288,348	84.9	9,840
台湾	267,560	3.5	11,732,174	13.6	43,849
その他	18,507	0.2	1,300,666	1.5	70,280
計	7,734,364	100.0	86,321,188	100.0	11,161

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の 96.3%、総 CIF 金額の 84.9%を占めている。平均 CIF 単価は 9,840 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の 3.5%、総 CIF 金額の 13.6%を占め、平均 CIF 単価は 43,849 円である。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.8%、総 CIF 金額の 98.5%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表 1 6 のようになっている。

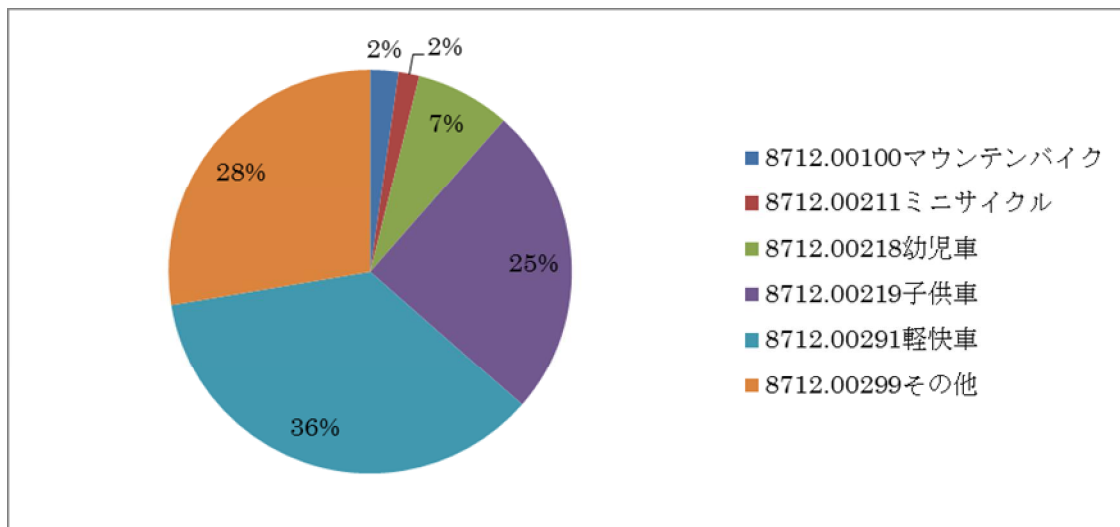
表 1 6 平成 26 年 1～12 月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	167,571	2,609,104	15,570
8712.00211 ミニサイクル	124,816	1,266,544	10,147
8712.00218 幼児車	565,554	3,721,613	6,580
8712.00219 子供車	1,854,170	16,802,731	9,062
8712.00291 軽快車	2,678,351	25,387,589	9,479
8712.00299 その他	2,057,835	23,500,767	11,420
計	7,448,297	73,288,348	9,840

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 6 に示した平成 26 年 1～12 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 L である。「軽快車」が 36% を占め、次いで「その他」が 28% を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図 E と似た状態が示されている。

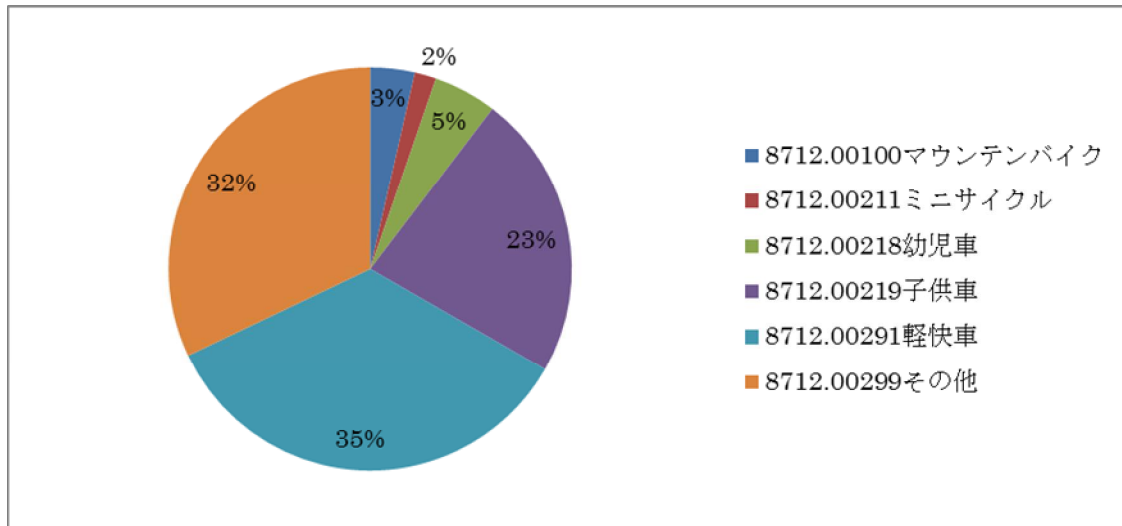
図 L 平成 26 年 1～12 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 6 に示した平成 26 年 1～12 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 M である。「軽快車」が 35% を占め、次いで「その他」が 32% を占めるなど、やはり全体の車種別 CIF 金額割合を示した図 F に比較的類似した状態が示されている。

図 M 平成 26 年 1～12 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 17 のようになっている。

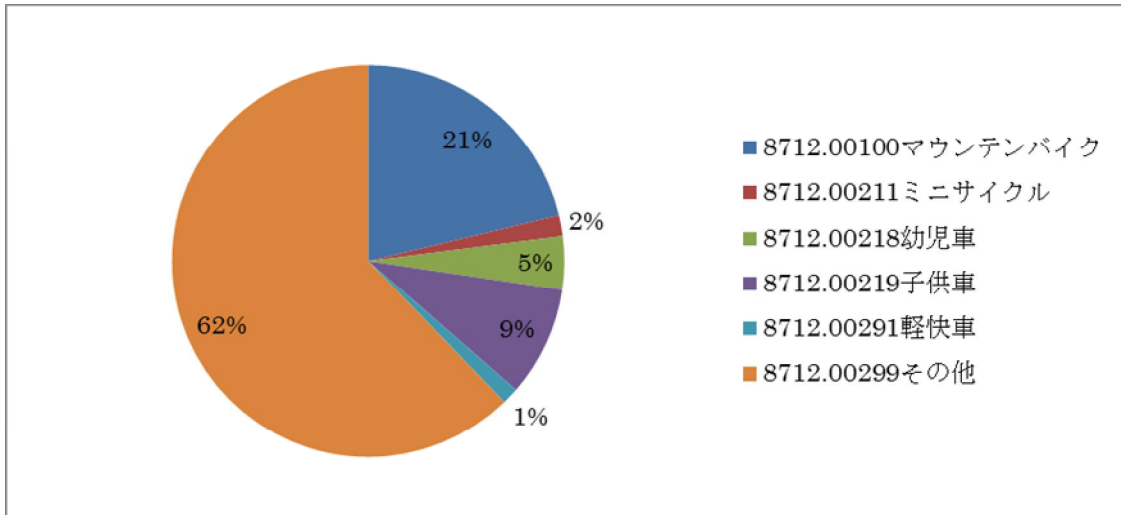
表 17 平成 26 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	56,848	1,949,180	34,288
8712.00211 ミニサイクル	4,562	104,335	22,870
8712.00218 幼児車	11,767	114,171	9,703
8712.00219 子供車	24,258	456,214	18,807
8712.00291 軽快車	3,655	107,635	29,449
8712.00299 その他	166,470	9,000,639	54,068
計	267,560	11,732,174	43,849

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した平成 26 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 N である。全体の輸入状況を表した図 E や中国からの輸入状況を示した図 L とは異なり、「その他」が 62%、「マウンテンバイク」が 21% と大きな割合を占める一方で、「軽快車」は僅か 1% を占めるにすぎない状況となっている。

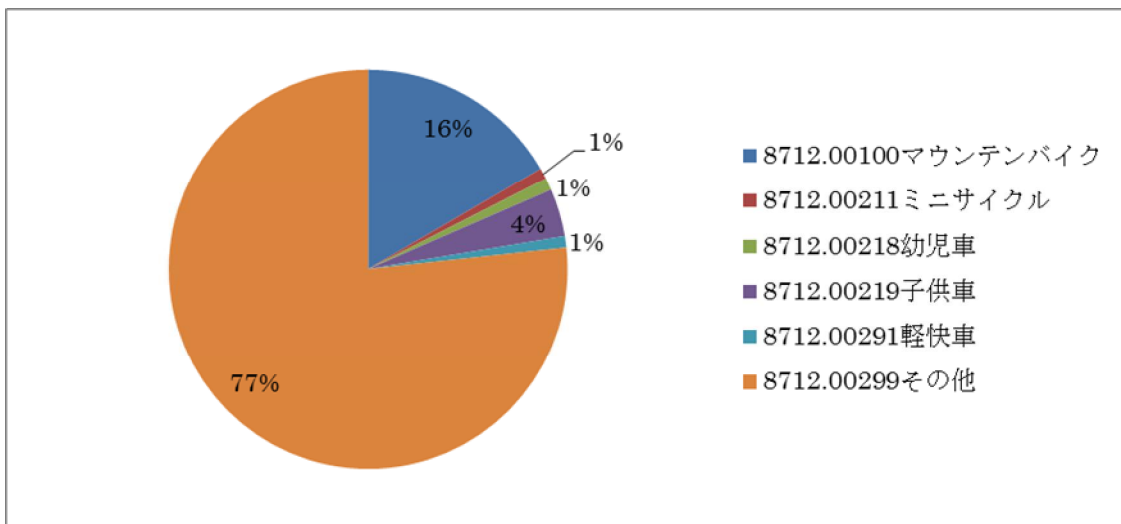
図 N 平成 26 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 7 に示した平成 26 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 O である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 77% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 16% を占め、「軽快車」はやはり 1% を占めるに過ぎない。

図 O 平成 26 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 26 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 1 8 に示す。

表 1 8 参考 平成 26 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
輸入主要供給元

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	54,162	97.8	2,135,705	93.9	39,432
台湾	1,076	1.9	69,655	3.1	64,735
その他	169	0.3	69,004	3.0	408,308
計	55,407	100.0	2,274,364	100.0	41,048

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

5. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～12 月の「国内向け数量」の過去 9 年間の推移を表 1 9 に示す。生産台数・輸入台数とも過去 9 年間で最も少なくなつたため、平成 26 年 1～12 月の「国内向け数量」は過去 9 年間で最低の 8,686,432 台となっている。また国内生産比率は 11.0%であった。

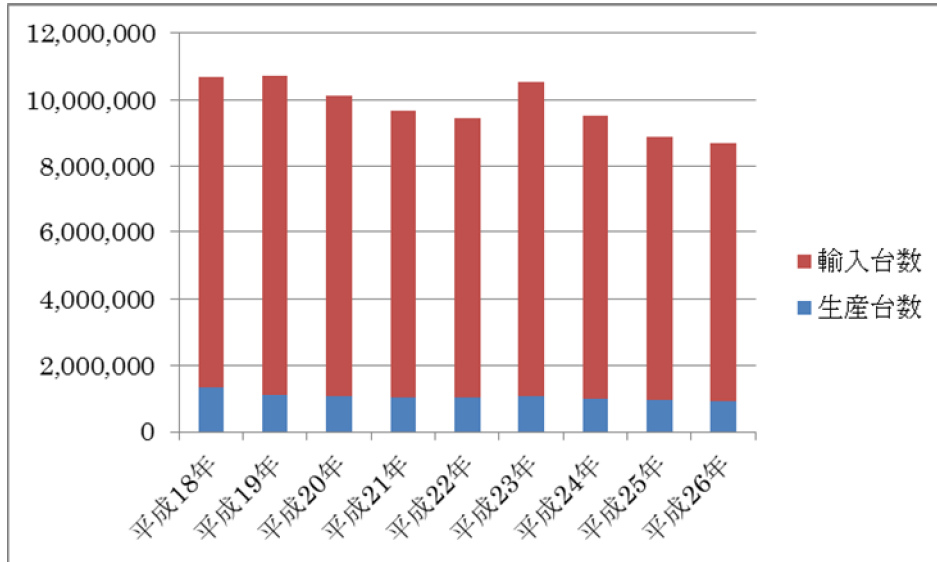
表 1 9 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 9 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 26 年	952,068	7,734,364	8,686,432	11.0
平成 25 年	965,954	7,932,395	8,898,349	10.9
平成 24 年	1,012,314	8,499,444	9,511,758	10.6
平成 23 年	1,101,666	9,450,592	10,552,258	10.4
平成 22 年	1,056,951	8,401,946	9,458,897	11.2
平成 21 年	1,049,469	8,621,717	9,671,186	10.9
平成 20 年	1,094,932	9,033,773	10,128,705	10.8
平成 19 年	1,135,606	9,603,314	10,738,920	10.6
平成 18 年	1,334,512	9,339,172	10,673,684	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 P である。

図 P 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 9 年間の推移
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、
 輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年以前の数値は改定値）、
 財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

6. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 26 年 1～12 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 20 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 20 平成 26 年 1～12 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ミャンマー	567,023	774,082	1,365
カンボジア	551,696	779,308	1,413
ガーナ	525,075	739,154	1,408
タンザニア	295,624	420,907	1,424
UAE	281,781	464,949	1,650
アフガニスタン	209,174	283,800	1,357
タイ	190,063	436,481	2,297
ナイジェリア	175,110	315,495	1,802
フィリピン	153,163	224,073	1,463
香港	71,167	156,338	2,197
その他	281,317	533,557	1,897
計	3,301,193	5,128,144	1,553

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 1 に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数・総金額ともに増加傾向にあり平成 26 年 1～12 月は過去 14 年間で最高となっている。本年 1～12 月の平均 FOB 単価は 1,553 円で、過去 14 年で 2 位となっている。

表 2 1 毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の過去 14 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 26 年	3,301,193	5,128,144	1,553
平成 25 年	3,142,282	4,320,542	1,375
平成 24 年	2,980,626	3,863,945	1,296
平成 23 年	2,676,620	3,505,035	1,310
平成 22 年	2,393,342	3,180,711	1,329
平成 21 年	2,214,528	3,000,068	1,355
平成 20 年	2,283,080	3,772,868	1,653
平成 19 年	2,095,644	3,028,212	1,445
平成 18 年	1,340,136	1,467,329	1,095
平成 17 年	1,221,802	1,364,928	1,117
平成 16 年	1,009,023	1,259,526	1,248
平成 15 年	865,478	1,151,778	1,331
平成 14 年	646,597	828,013	1,281
平成 13 年	559,732	793,344	1,417

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上